

すくすく G E N K

2015年 1月号

京都協立病院小児科

I



今年も、“かかりやすい小児科”

“話しやすい小児科”を目指し職員一

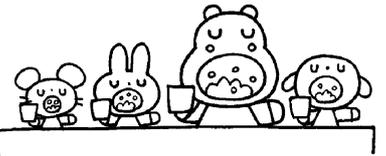
がんばりますのでよろしくお願いし

ます。

(小児科スタッフ一

同)

お正月休みが終わり、仕事や学校が始まりかけてきました。
人混みの中をうろろする機会も多かったのではないのでしょうか？
そろそろ、インフルエンザが流行る季節になってきました。
外から帰ったら、手洗い・うがいをしっかりし、体調管理には十分気をつけてくださいね。



インフルエンザ

★ インフルエンザとは？

典型的な場合は、39℃から40℃の高熱で始まります。この時全身倦怠感（体がだるい）が強く、筋肉痛（足腰の痛み）をとともなうこともあります。咳や鼻水は少し遅れて始まります。高熱は3日前後持続し、それで下がる場合もありますが、上がったりがさらに続いて、最大では1週間くらい続く事もあります。

高熱で始まるのが特徴、年齢の大きい子では咳や鼻水は後から

乳幼児では、典型的な形にならないので、始めから咳や鼻水があることも多く、他の風邪と区別が付きにくいのがふつうです。

★合併症は？

細菌の合併症である肺炎や中耳炎は、年齢の小さい子どもで起こりやすく、これには抗生物質が有効です。他にインフルエンザウイルスそのものによる肺炎や心筋炎などもあります。日本で多い子どもの脳炎は、痙攣が止まらない、意識がおかしいなどの症状が要注意です。

★診断するには？

インフルエンザを正確に診断するには、鼻の奥の粘膜をこすった液で、インフルエンザウイルスがいるかどうかを調べます。発熱してすぐとか、症状が始まって3日以上になると検出できないことがありますので、発熱後12時間～24時間で調べるのが良いでしょう。

ウイルスの迅速検査はあまり早すぎても遅すぎても正確に出ません。

★インフルエンザと診断された場合の登校・登園停止の基準

発熱して5日目までは自宅安静が必要です。なおかつ、学童は2日間、保育園・幼稚園児は3日間解熱（37.5℃を越えない）していれば、登校・登園が可能となります。

忘れていませんか？

MR ワクチン・水痘ワクチンお済みですか？

MR ワクチン

MR1期は1歳から2歳になるまで、MR2期は小学校就学前の1年間が公費対象になります。MR1期対象の方は1歳になられたらすぐに接種を！！MR2期対象の方は今年度末までが公費対象期間になっていますので、再度、母子手帳等確認していただき未接種の方は早めの接種をおすすめします。（大学や渡航される方でも2回接種が義務づけられているところもありますよ。）

水痘ワクチン

公費接種開始となった水痘ワクチン、定期接種対象年齢は1～3歳未満です。2回接種が義務づけられていますが、1回目接種後6ヶ月あけて2回目接種となります。2回目が3歳を過ぎてしまうと接種できなくなるため、忘れないうちに接種してください。

※寒い季節で体調の壊しやすい時期でもありますが、咳・鼻水があっても熱がなければ接種
できますので、体調の良い時を見計らって早い目にお越し下さい！！

